

第一巻及び第二巻での定性的な発がん性の評価から、定量的な発がんリスクの評価が必要とされた物質の結果一覧（4物質）

	物質名 (CAS番号)	有害性の知見			暴露評価		リスク評価の結果*1			判定		
		暴露経路	リスク評価の指標	動物	影響評価指標 (エンドポイント)	暴露の媒体	予測最大暴露量及び濃度					
1	アクリロニトリル (107-13-1)	経口	無毒性量等: 0.25 mg/kg/day	ラット	腎臓・心臓の重量増加	飲料水・食事	-	µg/kg/day	MOE	-	×	
			過剰発生率	-	×							
			スロープファクター: * (mg/kg/day) ¹	*	*	地下水・食事	0.011 ~ 0.031	µg/kg/day	MOE	81 ~ 230	~	
			TD _{0.05} : * mg/kg/day	*	*				過剰発生率	*	*	
		吸入	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		2	酸化プロピレン (75-56-9)	経口	無毒性量等: - mg/kg/day	-	-	飲料水・食事	-	µg/kg/day	MOE	
過剰発生率	-				×							
スロープファクター: 2.4×10 ⁻¹ (mg/kg/day) ¹	ラット				前胃扁平上皮がん	淡水・食事	< 0.28	µg/kg/day	MOE	-	×	
TD _{0.05} : - mg/kg/day	-				-				過剰発生率	< 6.7×10 ⁻⁵	~	
吸入	無毒性量等: 1.3 mg/m ³			ラット	鼻腔上皮細胞の変性	一般環境大気	0.15	µg/m ³	MOE	87		
	過剰発生率			5.6×10 ⁻⁷								
	エントリク: 3.7×10 ⁻⁶ (µg/m ³) ⁻¹			マウス	鼻腔の血管腫及び血管肉腫	室内空気	-	µg/m ³	MOE	-	×	
	TD _{0.05} : - mg/m ³			-	-				過剰発生率	-	×	
3	1,2-ジクロロエタン (107-06-2)	経口	無毒性量等: 0.58 mg/kg/day	ラット	腎臓重量の増加	飲料水・食事・土壌	0.16 ~ 0.17	µg/kg/day	MOE	34 ~ 36		
			過剰発生率	1.5×10 ⁻⁵								
			スロープファクター: 9.1×10 ⁻² (mg/kg/day) ¹	ラット	血管肉腫	地下水・食事・土壌	4.0	µg/kg/day	MOE	1.5		
			TD _{0.05} : 6.2 mg/kg/day	ラット及びマウス	前胃の扁平上皮がん、血管肉腫、肝細胞がん、細気管支-肺移行部腺腫など				過剰発生率	3.6×10 ⁻⁴		
		吸入	無毒性量等: 8.3 mg/m ³	ラット	肝疾患、神経症状など	一般環境大気	1.3	µg/m ³	MOE	64		
			過剰発生率	-	×							
			エントリク: - (µg/m ³) ⁻¹	-	-	室内空気	0.85	µg/m ³	MOE	98		
			TD _{0.05} : - mg/m ³	-	-				過剰発生率	-	×	
4	1,3-ジクロロプロペン (542-75-6)	経口	無毒性量等: 2.5 mg/kg/day	ラット マウス	体重増加の抑制	飲料水・食事・土壌	0.08 ~ 0.16	µg/kg/day	MOE	160 ~ 310		
			過剰発生率	8.0×10 ⁻⁶ ~ 1.6×10 ⁻⁵	~							
			スロープファクター: 1.0×10 ⁻¹ (mg/kg/day) ¹	マウス	膀胱の移行上皮がん	地下水・食事・土壌	0.16	µg/kg/day	MOE	160		
			TD _{0.05} : - mg/kg/day	-	-				過剰発生率	< 1.6×10 ⁻⁵		
		吸入	無毒性量等: 0.9 mg/m ³	ヒト	精子数及び正常精子数への影響	一般環境大気	1.7	µg/m ³	MOE	53		
			過剰発生率	6.8×10 ⁻⁶								
			エントリク: 4.0×10 ⁻⁶ (µg/m ³) ⁻¹	マウス	細気管支-肺移行部腺腫	室内空気	-	µg/m ³	MOE	-	×	
			TD _{0.05} : - mg/m ³	-	-				過剰発生率	-	×	

(注1) : 現時点では作業は必要ない、 : 情報収集に努める必要がある、 : 詳細な評価を行う候補、 × : 現時点ではリスクの判定はできない。
 - : 無毒性量等が設定できなかった、あるいは予測最大暴露量が得られなかった場合、 (-) : 評価の対象外、あるいは評価を実施しなかった場合を示す。
 * : スロープファクター等の情報は得られたが、本物質は発がん性に閾値があると考えられているため、採用しなかったことを示す。